



以前から、路上駐車の問題を自治会になげられていました。そこで自治会館の駐車場を常時5台、会館側3台の最大8台駐車できるように整備して、自治会携帯電話を利用して会員からの申し込みを簡素化し昨年は567台、今年度は申し込み回数243回、733台が利用しました。みはる野自治会は駐車場を常設している厚木市でも数数ない自治会です。

みはる野には、いろいろな専門技術をお持ちの会員が大勢います。役員会での決め事や会員からの問題提起は、スマホのメール、LINE アプリやインターネット通信（BAND やクラウド会計システム）で、早く確実に伝達ができています。これによりコロナ禍で集まるのが困難な中でも必要な活動ができました。



そのほか野良猫の問題等も厚木市と協働して取り組む提案を行いましたが、令和4年度は厚木市に保護施設の要望書を提出して、保護施設ができるよう引き続き取り組みます。

自治会の抱える大きな問題として高齢化等による班長業務の負担や、少人数班の課題があります。少人数班は隣接の大きな班と統合して班長になる回数を減らす方向で調整します。とび地の班は意見を聞いて都度対応します。班長業務や自治会イベントの外部委託等も検討課題として班長業務軽減に取り組みます。

最後に自治会の役割についてですが、会員の個人的な課題には関与できませんが、地域の公共サービス（公園の遊具や除草、遊歩道の植栽のせん定や除草、道路の整備や、植樹マスの管理、野良猫の課題、スポーツ広場、空家除草、交通防犯問題等）については個人で要望することもできますが、自治会が役員会で審議して厚木市に要望を出すと、行政としては地域の要望として受理しやすい面があります。つまり個人の要望は「1/厚木市の人口」の重み付けですが、自治会の要望は「1/自治会数」になります。厚木市の人口は223,600人ですが厚木市の自治会数は216です。自治会からの要望が圧倒的有利です。

住みよい街については会員の皆様には、いろいろな考えがあると思いますが、自治会の課題として役員会で審議して、課題をつき詰めて、行政も住民も納得行くよう努力をいたします。

2022年4月 みはる野自治会長 岩崎正昭